

**2023年度**  
**京都大学大学院薬学研究科**  
**博士後期課程**  
**編入学 学生募集要項**  
(外国人留学生特別選考を含む)

※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により試験実施日や実施方法等を変更する可能性があります。その場合は薬学研究科ホームページへ掲載しますので、当該情報に注意してください。

### アドミッション・ポリシー

薬学研究科は、諸学問領域の統合と演繹を通じて世界に例を見ない創造的な薬学の“創”と“療”の拠点を構築し、先端的創薬科学・医療薬学研究を遂行して人類の健康の進展と社会の発展に大きく貢献することを目指しています。本研究科では、生命倫理を基盤に独創的な創薬研究を遂行しうる優れた資質と能力を有し、将来、リーダーとして国際的に活躍することのできる薬学研究者の育成を目指しています。そのためには、強い責任感、使命感と高い倫理性、体系的・先端的な知識と技能、それらを柔軟に活用する力、新たな知的価値を創出する力、科学・技術および広汎な社会的課題について複数の解決策を提示できる力、幅広い視野と教養により研究成果を世界に向けて発信・説明できる力が必要です。このような目標のもと、薬学研究科は、以下のような学生を求めています。

1. 薬科学に関する高度な専門知識と技能を持っている人
2. 専門領域において創造性の高い研究を行う素地を持っている人
3. 薬科学に関して異なる文化・分野の人々ともコミュニケーションできる理解力、思考力、表現力を持っている人
4. 薬科学の研究を通じて、国際的視野を持って問題解決に貢献し、社会の発展に寄与し、将来はリーダーとして活躍するという責任感、使命感、倫理観のある人

上記のポリシーを実現するため、入学者選抜においては、以下のような評価方法を用いています。各評価方法の比重等詳細については、募集要項に明記しています。

1. 専門知識を評価するための筆記試験または口述試験
2. 面接

### 1. 募集人員 若干名(薬科学専攻)

出願を希望する者は「2023年度薬学研究科募集分野一覧」を確認の上、あらかじめ編入学を希望する分野の分野主任に問い合わせてください。

### 2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、又は2023年3月末をもって該当する者

- (1) 修士の学位又は修士(専門職)若しくは法務博士(専門職)の学位を有する者
- (2) 外国において本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程に相当する課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学を含む。)の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程(本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。)を修了した者
- (5) 国際連合大学(国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項の規定によるものをいう。次号において同じ。)の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であって、本学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者  
大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者

注1 上記(6)、(7)及び(8)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければならない。

### 3. 出願資格の審査

出願資格(7)により出願を希望する者には、出願に先立ち次により資格審査(書類審査及び学力検査)を行う。

#### (1) 審査基準

大学卒業後、大学、研究所、研究機関、企業等において、2年以上の研究実績がある者または2023年3月末で研究実績が2年以上になる見込みの者で、学術論文、著書、研究発表、特許等により、本学修士課程修了と同等以上の学力があると認められる者であること。

#### (2) 出願資格審査実施方法等

##### (ア) 書類審査提出書類

次の書類を薬学研究科教務掛まで提出すること。

(郵送による場合は、封筒の表に「博士後期課程出願資格申請」と朱書きし、必ず書留郵便とすること。)

①～④：2022年10月3日(月)締切

- ①出願資格審査申請書 交付の用紙で作成すること。
  - ②学業成績証明書 出身大学学部のもの。出身大学(学部)長が証明し、厳封したもの。
  - ③業績調書 交付の用紙に専門とする領域の研究業績等について簡明に記載のこと。
  - ④研究従事内容証明書 交付の用紙に所属機関長等が作成し、厳封したもの。
  - ⑤TOEFL-iBT受験者成績書(Examinee Score Report)の原本。学力検査当日に持参すること。
- 注) 2020年10月12日以降に受験したものに限る。またTOEFL-iBT(Internet-based Test)のみを有効とする。

#### (イ) 学力検査日程・科目

年月日	時間	試験科目等	場所
2022年10月12日(水)	13:00～	志望分野科目(筆記)	薬学研究科講義室

資格審査の結果は、2022年10月14日(金)に申請者あて郵送により通知する。

出願資格(6)及び(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち資格審査(書類審査及び学力検査)を行うので、必要な書類を薬学研究科教務掛に請求し、2022年10月3日(月)までに提出すること。

### 4. 出願手続等

出願予定者は、出願に先立ち、志望する分野の教員に申し出ること。

出願手続は、出願期間内に「インターネット出願システムでの出願登録」、「入学検定料納入」、「必要書類の提出」をすることにより完了する。

インターネット出願システムのページには、以下のURLからアクセス可能。

<https://www.webshutsugan.com/kyoto-u-daigakuin/>

- ・インターネット出願登録・入学検定料納入期間：  
2022年10月19日(水)～28日(金)
- ・必要書類受理期間：2022年10月27日(木)～28日(金)

#### (1) 出願書類

角形2号の封筒(240mm×332mm)の表面にインターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷できる宛名ラベルを貼り付け、全ての出願書類を封入し郵送又は持参してください。

- (ア) 志願票(入学願書) インターネット出願システムの出願登録完了画面から印刷すること。
- (イ) 写真票 写真票には、上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影した写真1枚(縦4cm×横3cm、カラーも可)を枠内に貼付すること。  
\*後日、大学から送付する受験票に写真を貼付する必要があるため、あらかじめ同じ写真をもう1枚準備のこと。

(ウ) 修士論文	修士論文及びその要旨（1,500字～2,000字程度）又は修士論文にかわる研究経過報告書及びその要旨（1,500字～2,500字程度）を提出すること。なお、研究に関する報文別刷等の資料があれば添付すること。要旨について、日本語・英語以外で記載されたものについては日本語または英語訳を付すこと。
(エ) 学業成績証明書	出身大学学部及び出身大学院のもの。出身大学・大学院（学部・研究科長）長が証明し、厳封したもの。（出願資格審査を受けた者は不要）
(オ) 修了（見込）証明書	出身大学院（研究科長）が証明したもの。
(カ) 入学検定料	<p><b>入学検定料 30,000円</b>  <b>（本学大学院修士課程修了見込者は不要、国費留学生の合格者は後日返還）</b></p> <p>支払い方法は、インターネット出願時に以下のいずれかを選択すること。  ※入学検定料の他に支払い手数料（650円）が必要。  ・コンビニエンスストア  ・クレジットカード  ・金融機関 ATM  ・ネットバンキング</p> <p>※2011年3月に発生した東日本大震災、2016年4月に発生した熊本地震、2018年7月豪雨、2018年9月に発生した北海道胆振東部地震、2019年10月台風第19号、及び2020年7月豪雨による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。  詳しくは10月12日（水）までに、薬学研究科教務掛まで問い合わせてください。</p>
(キ) 受験票送付用封筒	長形3号の封筒（120mm×235mm）に受信者の住所・氏名・郵便番号を明記し、 <b>344円分</b> の切手（速達）を貼付すること。 （受験票は出願書類等受理締切後に送付）
(ク) その他	注1～3参照。

注1 現在官公庁、企業等に在職中の者について

合格後在職のまま入学する場合には、入学手続時に本研究科の研究指導を受けることに支障がないよう配慮する旨記載された代表者又は所属長の発行する書類を提出しなければならない。

- 2 外国人留学生は在留資格、在留期間及び在留カード等の番号が記載された住民票を提出すること。在留カードの裏表写しでも可。
- 3 出願者の状況により、本研究科において必要とする書類を提出すること。

(2) 出願手続

- (ア) インターネット出願登録と入学検定料納入後、前記出願書類（志願票、写真票、成績証明書、修了見込証明書または修了証明書、受験票送付用封筒）等を「〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 京都大学 薬学研究科教務掛」あて提出又は郵送すること。
- (イ) 郵送による場合は、封筒の表に「博士後期入学願書」と朱書し、必ず**書留郵便**とすること。
- (ウ) 出願書類等受理後は、出願事項の変更は認めない。また、入学検定料の払いもどしはしない。

(3) 出願書類等受理期間

2022年10月27日（木）～28日（金）午後5時まで。

ただし、10月27日（木）以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

5. 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

本研究科では、障害等があつて受験に配慮を必要とする入学志願者からの相談を受け付けます。受験上、配慮が必要な場合は協議しますので、2022年10月19日（水）までに薬学研究科教務掛へ申し出てください。

## 6. 入学者選考方法及び試験科目・試験日程

(1) 入学者の選考は、出願書類の内容、専門科目試験及び面接試験の結果を総合して行う。

### (2) 試験科目・試験日程

年月日	時間	試験科目等	場所
2022年11月21日(月)	13:00～	専門科目	薬学研究科講義室
		専門科目終了後 面接	

注1 「専門科目」は研究概要の業績発表(口演20分)及びこれに関する試問を行う。

注2 新型コロナウイルス感染が悪化した場合、Zoomで行うことがある。

専門科目 下記のうちから1科目を事前に選択し願書の指定された場所に記載すること

薬品合成化学	薬品分子化学	
構造生物薬学	生体分子計測学	
精密有機合成化学	システム微生物学	神経再編成機構
生体分子認識学	ウイルス制御学	がん・幹細胞シグナル学
生理活性制御学	生体情報制御学	神経機能制御学
生体機能化学	薬品動態制御学	臨床薬学教育
病態機能分析学	病態情報薬学	生体機能解析学
医療薬剤学	薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学	
システムバイオロジー	システムケモセラピー(制御分子学)	
創薬プロテオミクス	バイオ医薬品化学	
統合ゲノミクス	分子設計情報	ケミカルバイオロジー

## 7. 合格者発表

2022年12月9日(金)午前10時頃薬学研究科ホームページで発表し、合格者には「合格通知書」をあわせて送付する。(電話等による照会には応じない。)

## 8. 入学料及び授業料【国費留学生の合格者は後日返還】

入学料 282,000円

授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円)

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から改定された新入学料及び新授業料が適用されます。

※ 納付時期等については合格者への入学案内送付(2023年3月上旬頃)により通知します。

## 9. 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金推薦等、③入学者の受入準備の目的において、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

2022年9月

京都大学大学院薬学研究科

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町  
(075)753-4514 (薬学研究科教務掛)

<http://www.pharm.kyoto-u.ac.jp/>

## 2023年度4月薬学研究科募集分野一覧

研究分野名	分野主任教員名		募集有無
			博士後期課程
薬品合成化学	高須清誠	教授	○
薬品分子化学	竹本佳司(※4)	教授	○
薬品機能解析学	松崎勝巳(※3)	教授	×
構造生物薬学	加藤博章(※4)	教授	○
精密有機合成化学	大宮寛久	教授	○
生体分子認識学	竹島 浩(※4)	教授	○
ウイルス制御学	橋口隆生	教授	○
免疫制御学	生田宏一(※2)	教授	×
生理活性制御学	井垣達吏	教授	○
生体情報制御学	中山和久(※2)	教授	○
生体機能化学	二木史朗(※3)	教授	○
薬品動態制御学	山下富義	教授	○
臨床薬学教育	米澤 淳	准教授	○
病態機能分析学	小野正博	教授	○
病態情報薬学	高倉喜信(※1)	教授	○
生体機能解析学	金子周司(※1)	教授	○
医療薬剤学	寺田智祐	教授	○
生体分子計測学	石濱 泰	教授	○
システム微生物学	ROBERT, Martin	准教授	○
神経再編成機構	CAMPBELL, Douglas Simon	准教授	○
薬理ゲノミクス・ゲノム創薬科学	平澤 明	准教授	○
創薬有機化学	大野浩章	教授	×
システムバイオロジー	土居雅夫	教授	○
システムケモセラピー(制御分子学)	掛谷秀昭	教授	○
創薬プロテオミクス	石濱 泰	教授	○
バイオ医薬品化学	大野浩章	教授	○
統合ゲノミクス	緒方博之	教授	○
分子設計情報	馬見塚拓	教授	○
ケミカルバイオロジー	上杉志成	教授	○
がん・幹細胞シグナル学	伊藤貴浩	教授	○
神経機能制御学	木村郁夫	教授	○
ナノバイオ医薬創成科学	米原 伸	客員教授	×

研究内容は薬学研究科ホームページを参照すること

(※1): 2023年3月 退職予定

(※2): 2024年3月 退職予定

(※3): 2025年3月 退職予定

(※4): 2026年3月 退職予定